

茨城労働局長賞の受賞者名簿

1 優良賞

事業場名称（フリガナ）	所在地	業種（日本産業標準中分類）	労働者数（人）	受賞のポイント
アサヒビールカブシキガイシャ イ バラキコウジョウ アサヒビール株式会社 茨城工場	守谷市 緑 1 丁目 1 番 1 号	食料品製造業	313	1 エ場内には、安全の象徴であるポスターを設置し、作業前に指差呼称を行うことにより、労働者の安全衛生意識の高揚を図っていること。 2 事業者、全労働者が安全宣言を行い、その内容を工場内に掲示する等全員が繰り返し、それを視認することにより、安全作業への意識を深めていること。 3 リスクアセスメントが計画的かつ継続的に実施され、職場のリスクを低減していること。 4 これらの安全確保対策を推進し、8 年間に亘り、無災害を継続していること。
カシマミナミキョウドウハツデンカ ブシキガイシャ 鹿島南共同発電株式会社	神栖市 東和田33	電気業	73	1 年間の安全衛生活動方針による無事故・無災害を継続するため、設備の定期修理工事、化学物質の取扱い、防災訓練強化、心身の健康向上等に積極的に取り組んでいること。 2 高温環境下の作業については、労働者にウェアブルデバイス（端末）を携帯させ、熱中症予防に効果を上げていること。 3 リスクアセスメントが計画的かつ継続的に実施され、職場のリスクを低減していること。 4 これらの安全確保対策を推進し、10年間に亘り、無災害を継続していること。
オルガノカブシキガイシャ ツクバ コウジョウ オルガノ株式会社 つくば工場	つくば市 緑ヶ原 2 丁目 3 番（つくばテク ノパーク豊里 内）	化学工業	20	1 化学物質の取扱いについては、自社で作成したリスクアセスメントツールを使用し、化学物質にばく露されない設備的な対策、保護具の着用を徹底する等必要な対策を講じていること。なお、企業独自に作成した化学物質管理の安全衛生教育の教材を使用し、安全衛生教育を実施していること。 2 化学物質管理者は、化学物質に知見を有し、環境測定の専門家である環境計量士に、必要な講習を修了させて選任し、適正な化学物質管理を実施している。 3 企業独自の社内報（安全だより）等により、労働者の安全衛生意識の高揚等を図っていること。

2 奨励賞

事業場名称	所在地	業種（日本産業標準中分類）	労働者数（人）	受賞のポイント
カブシキガイシャヒタチビルシステ ム ミトジギョウシヨ 株式会社日立ビルシステ ム 水戸事業所	ひたちなか市 市毛1070番地	一般機械器具製造業	1, 383	1 労働者の安全衛生意識の高揚を目的に、安全体感道場を設置して、新入社員教育に活用する等効果的な安全衛生教育を実施していること。 2 リスクアセスメントが計画的かつ継続的に実施され、職場のリスクを低減していること。 3 これらの安全確保対策を推進し、5 年間に亘り、無災害を継続していること。
タイセイコウギョウカブシキガイ シャ キタイバラキコウジョウ 大生工業株式会社 北茨城工場	北茨城市 中郷町日棚宝壺 644-50	一般機械器具製造業	41	1 選任義務の無い安全管理者、衛生管理者を法令を上回って選任し、法令の職務を実施させていること。 2 入社後、3 年以内の労働者に、危険予知活動の安全衛生教育を実施し、危険予知及びリスクアセスメントに対する安全衛生意識を高揚させていること。 3 リスクアセスメントが計画的かつ継続的に実施され、職場のリスクを低減していること。 4 これらの安全確保対策を推進し、7 年間に亘り、無災害を継続していること。
ニホンセイシリキッドパッケージプロ ダクトカブシキガイシャ エガワジ ギョウシヨ 日本製紙リキッドパッ ケージプロダクト株式会 社 江川事業所	猿島郡五霞町 江川2572	パルプ・紙・紙加工 品製造業	253	1 リスクアセスメントが計画的かつ継続的に実施され、職場のリスクを低減していること。特に、労働者が自主的に工場内の危険個所の改善報告を行う等安全対策が浸透していること。 2 安全研修室を設置し、1 年間に 4 回、指差呼称の重要性、玉掛け作業での手指の挟まれ等17種類の危険体感教育を実施し、常勤、非常勤に関わらず、労働者の安全衛生意識を高揚させていること。 3 これらの安全確保対策を推進し、4 年間に亘り、無災害を継続していること。
メクテックカブシキガイシャ ウシ クジギョウジョウ メクテック株式会社 牛久事業場	牛久市 奥原町1650-11- 1	電気機械器具製造業	477	1 安全は、人間尊重経営の礎であるため、安全別格という安全基本理念に基づき、事業者による表明、表示を行う等労使双方が協力し、その遵守を基本とした安全衛生活動を実施していること。 2 外国人労働者の安全衛生対策として、6 か国の母国語により、安全衛生教育用のテキスト・視聴覚教材を作成し、それを活用することにより各種の安全衛生対策を周知徹底していること。 3 リスクアセスメントが計画的かつ継続的に実施され、職場のリスクを低減していること。 4 これらの安全確保対策を推進し、9 年間に亘り、無災害を継続していること。

空白のページ